

いずみ自治会、炊き出し訓練の様子



11月27日、東豊田1丁目地区の自治会「いずみ自治会」で炊き出し訓練が開催されました。多くの自治会の方たちが参加して賑わい、防災について学びました。いずみ自治会の方たちの防災に対する意識は、ものすごく高く、質問の中には「スタンドパイプは購入できるのか？買うといくらくらいするのか？」などの質問がありました。放水訓練時にも、多くの方が体験をしました。

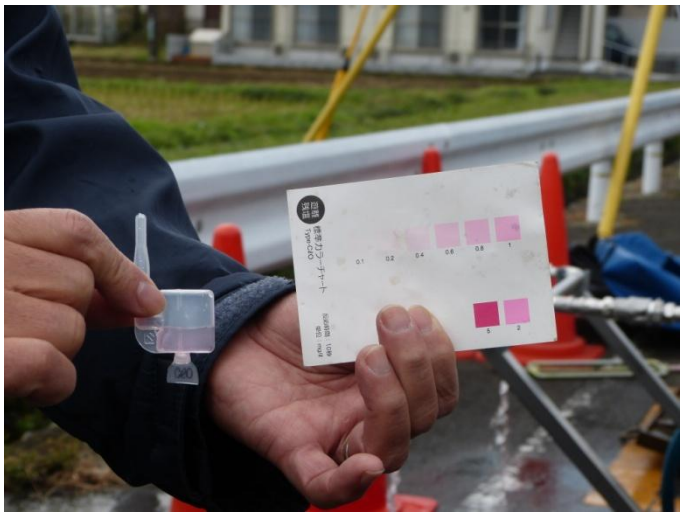
していただき、珍しい野菜など、とてもおいしそうな野菜が販売されました。消防署の方や警察署の方、市役所の方なども参加をしてください、一時のことですが、とても有意義な時間を過ごしました。また、このよ

今回の防災訓練では、放水訓練やスタンドパイプを利用し、消火栓からの水を利用しようという試みがなされました。また、災害時のためにアルファ米を利用したの炊き出し訓練やとん汁などを作っていました。今は楽しくとん汁などをつくりませんが、当然災害時には役に立つことで、日頃から楽しみながらでも、こうした試みが必要かと思っています。このイベントに合わせて、八王子市で活躍しているFIOという団体さんが、無農薬の野菜の販売を

なっております。どこにどんな人がいて、その方がどんな苦労をされているのか？障害がある方もいますし、高齢になり歩行が困難な方もいます。是非そんな方々も訓練に参加をして、自分がこの町にしていることをアピールし、災害が起きた時には助けていただかないといけないと考えます。参加することによって、自治会のほうでも、災害時にはどうしようかという話し合いが持たれるのだと思います。



この消火栓は四角だった。丸と四角があるということでした。また、黄色く縁取りがされています。消火栓は黄色く縁取りされているということでしたが、まれに縁取りがないものもあるそうです。みなさんの地域でもどんな消火栓なのか、場所はどこにあるのかなど調べてみることも重要かと思いました。



スタンドパイプは写真では見るできませんが、そこから給水するための蛇口を取り付け、消火栓から水を引くことができます。もちろん右に写真のように水質検査をしなければなりません。安全が第一ですから。私も試飲させていただきましたが、いつもの水でした。東京都の水。結構自慢できる美味しい水ですね。



自治会の女性の方が50人分のアルファ米に挑戦してくれました。ひと箱で50人分のセットが入っています。箸やパック、輪ゴム、しゃもじなどが入っていて、不自由なくご飯が作れるようになったすぐれものでした。

一番大切なことはアルファ米と具材をよくかき混ぜることだということです。具材に味が付いていて、良くかき混ぜないと味がすべてにいきわたらないということになります。



薪を使い火を起し、とん汁などを作っていました。美味しそう！

実際に災害に会った時のため、是非何度も繰り返し、訓練をやり誰でもが作れるようにしておかないといけないと思います。市民は最低3日間の備蓄をしてほしいとのこと。さて自分は大丈夫かと自分に聞いてみてください。私ももう少し備蓄が必要かと反省しております。



消防の方々、警察の方々も、自治会の方々も尽力していただき、ありがたく思います。
筆者はこの自治会ではないのですが、とても楽しく過ごさせていただきました。



いずみ自治会のみなさん、関係者の皆さん
取材のご協力ありがとうございました。